

令和元年度

公共事業評価に係る意見について

<p>事業名</p>	<p>【再評価】 横代南町山手 1 号線道路改築事業</p>
------------	------------------------------------

北九州市公共事業評価に関する検討会議

令和元年 10 月 30 日

1 対象事業

市道横代南町山手1号線は、並行する国道10号と都市計画道路（以下、（都）とする。）5号線を補完する、（都）南方朽網線（S42 都市計画決定）の一部を構成し、市道横代南町3号線と合わせ、（都）横代線と（都）蜷田若園企救丘線を連絡する幹線道路である。

本事業の目的は、小倉南区一円の交通ネットワークの構築により、小倉南区の東西アクセスを充実させること及び、周辺地域の生活環境を向上させることとしている。

事業名	事業箇所	事業費	事業期間 (年度)
横代南町山手1号線 道路改築事業	小倉南区横代南町五丁目 ～ 小倉南区山手三丁目	7,500百万円	H17 ～ R9

2 事業の進め方についての意見

「横代南町山手1号線道路改築事業」を本計画どおり進めていくことについて、すべての構成員が「異論はない」との意見であった。

3 各構成員の主な意見

具体的な事業の推進に当たっては、下記の点に留意すべきとの意見があった。

(1) 補償費の当初算定における精度向上について

本事業の大型補償物件に係る補償費は、事業着手後の詳細調査の結果、当初算定額から大幅に増額することとなった。

類似ケースを発生させないためにも、今後の道路事業における大型補償物件では、事業着手前の情報収集を十分行い、補償費算定の精度を向上させること。

また、取り組みを進めるために有効な仕組みなどの体制づくりをあわせて検討すること。

(2) 事業区域及び周辺住民との合意形成について

一般家屋の用地補償にあたり、土地や家屋が道路区域にかかる程度によっては、地権者の理解を得るまでに長く時間を要することも懸念される。

計画道路区域及び隣接の住民に対しては、本事業への理解促進に向けて事業内容を丁寧に説明すること。

あわせて、道路完成後の周辺住民の生活環境への影響を考慮した取り組みを行う等により、円滑な合意形成に努めること。

4 北九州市公共事業評価に関する検討会議 構成員名簿

(五十音順、敬称略)

氏名	役職等
おがわ ゆうき 小川 悠貴	(株)日本政策投資銀行九州支店 企画調査課長
さいとう ゆりえ 齊藤 由里恵	中京大学 経済学部 准教授
はらだ みどり 原田 緑	北九州商工会議所女性会 理事
ふくやま ミツエ 福山 ミツエ	福山ミツエ一級建築士事務所 所長
やない まさと 柳井 雅人	北九州市立大学 副学長
よしたけ てつのぶ 吉武 哲信	九州工業大学大学院 工学研究院 教授